

複雑性悲嘆の概念と治療

武蔵野大学卒後教育プログラムは、臨床家としての道を歩まれ始めた方を対象に、具体的、実践的な技法を学ぶための入門コースとして、今年度は「アセスメントと心理教育」をテーマにワークショップを開催します。

複雑性悲嘆（complicated grief）とは、急性期の悲嘆が遷延化し、社会機能や対人関係等に障害をきたした状態である。複雑性悲嘆は、身体・精神健康、QOLの悪化や自殺行動との関連があることなどから、近年精神障害に位置づけられるようになった。DSM-5(2013年)では持続性複雑死別障害、ICD-11(2018)では、prolonged grief disorderと呼称されている。複雑性悲嘆の治療についてはメタアナリシスや近年の研究から認知行動療法が有効であることが報告されている。複雑性悲嘆療法（complicated grief treatment, 以下CGT）は、コロンビア大学（米国）のShear博士らのチームが開発したものであるが、無作為化試験により有効性が実証されている。講師らは、このCGTを日本の遺族に適応し予備研究で効果を確認している。本講座では、複雑性悲嘆の概念と治療、特にCGTについて理解するとともに、CGTで用いられている心理教育と事例定式化について演習を通してより実践的な学びを得ることを目的としている。

- ◆日時 : 令和元年 10月5日(土) 13:00~18:00
- ◆講師 : 中島 聡美(本学教授・本学認知行動療法研究所所長)
- ◆場所 : 武蔵野大学 有明キャンパス (りんかい線「国際展示場」駅より徒歩7分)
- ◆参加費 : 一般 8,000円 本学卒業生 5,000円
- ◆参加資格 : 臨床心理士、原則として臨床経験を持つ専門家(ソーシャルワーカー、相談員など)
- ◆定員 : 30名

講師紹介

精神科医、臨床心理士。筑波大学大学院医学研究科博士課程修了(博士(医学))。北の丸クリニック理事長、常磐大学コミュニティ振興学部助教授、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所成人精神保健研究部室長、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター特命准教授を経て2018年より現職。

本ワークショップは、「臨床心理士」の教育・研修機会として、(財)日本臨床心理資格認定協会に申請予定です。承認された場合、1日ごとに実績2ポイントが認められます。

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



10月5日(土) 複雑性悲嘆の概念と治療

FAX お申込書

送付先 武蔵野大学生涯学習事業課 FAX: 042-468-3211

申込日 : 令和 年 月 日

1. 氏名 :
2. ふりがな :
3. 所属 :
4. 職種 :
臨床心理士登録番号をお持ちの方は番号をお書きください ()
5. 連絡先 : 勤務先 ・ ご自宅 (どちらのご住所か○を付けてください)
 - ① 〒
 - ② 住所 :
 - ③ 電話番号 :
 - ④ FAX :
 - ⑤ メールアドレス :
6. 心理・精神科医等での臨床経験年数 : 年
7. 本ワークショップを何でお知りになりましたか
8. 本学大学院修了生の方は、指導教員をご記入ください ()
9. 通信欄

※参加お申込から受講案内の流れ

- ①メール または FAX にてお申込ください。
- ②受信確認後、こちらからお申込確認のメール(またはFAX)をお送りいたします。
- ③ご受講いただける方には、別途、「受講のご案内」「郵便振替払込取扱票」をお送りしますので、指定期日までにお払込手続きをお願いします。指定期日までに入金確認ができない場合はキャンセル扱いとなる場合がありますのでご注意ください。